



地域障害者職業センターの 職業準備支援のご案内

～企業等で働くこと、働き続けることを目的とした支援～

相談のうえ個別カリキュラムを作成します

個別カリキュラム
の目標例

- ① 自分に合った働き方を見つける
- ② 求職活動に役立つ知識を身につける
- ③ 職場で必要なコミュニケーションの方法を身につける

作業支援

さまざまな作業を通して
自分に合った働き方を見つける

- 自分に合う仕事を知りたい
- 仕事をうまく進める方法をいろいろ試したい
- 働き続けるための工夫点（疲れやストレスへの対応方法）を知りたい 等



個別相談

定期的にスタッフと
個別カリキュラムの
取り組み状況を確認



講 座

求職活動に役立つ知識を
身につける

- 履歴書の書き方
- 面接の受け方
- 職場体験実習 等

ロールプレイやグループ
ミーティング等を通して
職場でのコミュニケーション
方法を身につける



求職活動
(ハローワークと協力)

就職等を目指し企業内での支援

(ジョブコーチ支援※1等) に移行します

※1 ジョブコーチ支援：円滑に職場に適応することができるよう、事業所にジョブコーチを派遣し、障害者及び事業主に対して、障害特性を踏まえた支援を行います

自分に合った支援を受けられます



* 事前の職業相談・職業評価による、一人ひとりの状況に応じた個別カリキュラムを作成します



* 利用頻度・利用期間・支援内容は、一人ひとり異なります

利用者の声（支援内容の例）

Aさん



ハローワークや採用面接の場で得意なことや苦手なこと等、自分の知ってほしいことをスムーズに伝えることができました。

- ・前の会社ではミスが多いと言われて困っていました。
- ・就職先を探す前に、自分のこと振り返りたいです。

支援開始

- ・前の会社であったようなミスが作業で発生しスタッフと相談をしながら、対策を考えました。
- ・得意なこと、不得意なことが整理できました。

- ・利用中の体験を元に、自己紹介シート（※2）をスタッフと相談しながら作成しました。
- ・採用面接で、自己的ことを説明するときに活用しました。

困ったこと

就職をめざした準備、求職活動のサポート

※2 自己紹介シート

（記載内容の一例）

セールスポイント

コミュニケーションについて

会社にお願いしたいこと

自身の特徴やセールスポイント、配慮をお願いしたいこと等をわかりやすくまとめました。

これが役立ちました
～Aさんの場合～

Bさん



求職活動や就職後のサポートを受ける
ことができる安心です。
再就職先で長く働くことが目標です。

- ・人間関係がつらくて体調を崩していました。
- ・自信を持って再就職したい、求職活動のアドバイスをしてほしいと思いました。

支援開始

- ・体調管理シート（※3）を使って、作業のペースや疲れやすさをチェックしながら参加しました。
- ・どのような仕事の仕方が自分に合っているか、分かってきました。

- ・スタッフと相談しながら、ハローワークで仕事探しをしました。
- ・いくつかの求人に応募し、採用面接を経て、就職が決定しました。

- ・新しい仕事や人間関係に不安があったので、就職先ではジョブコーチ支援を受けることにしました。

悩んでいたこと

就職をめざした準備、求職活動のサポート

※3 体調管理シート

- ・定期的にスタッフのアドバイスを受けながら、体調管理シートを書いてみました。
- ・体調を維持するコツがわかり、自信を持つて求職活動に進むことができました。

これが役立ちました
～Bさんの場合～

ご利用の流れ

お申込み

職業相談
職業評価

職業リハビリテーション
計画の策定

職業準備支援

求職活動の
サポート

就職後の
サポート
(ジョブコーチ支援等)

- ・プログラムの時間・内容についての詳細は、お問い合わせください。
- ・利用に費用はかかりませんが、交通費・昼食代は自己負担です。また、工賃や手当の支給はありません。

【職業準備支援の問い合わせ先】

最寄りの地域障害者職業センターへお問い合わせください。
※全国の地域障害者職業センターの所在地及び連絡先は、
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構のホームページ
(<http://www.jeed.go.jp/>)でご覧いただけます。



独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構